

## もちもちテクニック Vol.1 2014 SUMMER

あさくらひろし、danny 著

# 目次

第Ⅰ部	Ember.js+Rails でマイ妖怪図鑑をつくる	1
第1章	Rails + Ember をセットアップする	2
1.1	セットアップ	2
1.2	Rails のトップページを表示する	3
1.3	Ember <b>のトップページを表示する</b>	4
第Ⅱ部	Docker 入門	5
第2章	Docker	6
2.1	Docker とは	6
2.2	確認環境	7
2.3	シェルの操作	7

## 第一部

# Ember.js+Rails でマイ妖怪図鑑をつ くる

### 第1章

## Rails + Ember をセットアップする

今回は基本の CRUD と検索ができる簡単なアプリケーションを作ります。完成イメージはこんな感じです。Heroku へ完成したアプリをアップしておきました、動作はこちらでご確認ください。http://ember-hyakkiyakou.herokuapp.com/

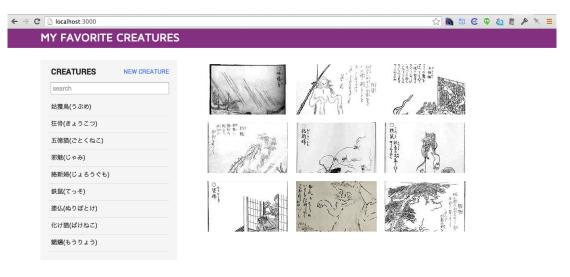


図 1.1 完成イメージ

### 1.1 セットアップ

まずは Rails アプリを作成します。DB はお好みでどうぞ。

```
$ rails new ember-hyakkiyakou -d postgresql --skip-bundle
$ cd ember-hyakkiyakou
$ bundle
$ bundle exec rake db:create
```

Ember と競合するので、以下のファイルから Turbolinks 関連のコードを削除します。

- Gemfile
- $\bullet$  app/views/layouts/application.html.erb

次に ember-rails gem をインストールして、Ember ファイルをジェネレートします。今回は JavaScript エンジンに CoffeeScript を指定しています。

```
# Gemfile
gem 'ember-rails'
```

```
$ bundle
$ bundle exec rails g ember:bootstrap -n App --javascript-engine coffee
```

不要になった app/assets/javascripts/application.js を削除します。また、初期状態の application.js.coffee には jquery\_ujs が足りないので追加しておきましょう。

```
# app/assets/javascripts/application.js.coffee
#= require jquery_ujs
```

### 1.2 Rails のトップページを表示する

Home コントローラーを作成します。Rails 側のテンプレートの中身は不要なので空にします。

```
$ bundle exec rails g controller home index --no-helper --no-assets
```

```
# app/views/home/index.html.erb
```

ルーティングを作成します。

```
# config/routes.rb
Rails.application.routes.draw do
```

```
root 'home#index'
  get '*path', to: 'home#index'
end
```

### 1.3 Ember のトップページを表示する

Router ヘルーティングを作成します。

```
// app/assets/javascripts/router.js.coffee
App.Router.reopen
  location: 'auto'
  rootURL: '/'
```

Ember アプリケーションのテンプレートを作成します。

```
// app/assets/javascripts/templates/application.hbs
<h1>Hello World</h1>
{{outlet}}
```

動作確認してみましょう。シンプルなトップページが表示されると思います。



**Hello World** 

図 1.2 トップページ

# 第Ⅱ部 Docker 入門

## 第2章

## **Docker**

### 2.1 Dockerとは



図 2.1 Docker

#### https://www.docker.com

- LXC(Linux Containers) を使った仮想化ソフトウエアです。
- 全部を仮想化しないので、完全仮想化する仮想化ソフトウエアに比べてオーバヘッドが少なくて済みます。
- ホスト OS のメモリーを共有するので、メモリーを効率良く使えます。
- ホスト OS からゲスト OS の起動が速いです。
- 差分で管理してるので、Dockerfile で何回もビルドする時に、すでに実行済みの部分はキャッシュされるので、ビルドが速いです。

第 2 章 Docker 2.2 確認環境

### 2.2 確認環境

- Mac OS 10.9.4
- VirtualBox 4.3.14
- Vagrant 1.6.3
- Docker 1.1.1

今回はこの環境で確認してます。最新の VirtualBox が動く環境であれば、Mac OS X 以外の Windows や Linux などの OS でも動きます。

### 2.3 シェルの操作

説明に使われてるコマンドがどれで実行するか分かりやすいように、シェルのプロンプト表示を 変えています。

VirtualBox を動かしてる OS での操作

\$

VirtualBox で動いてる Docker のホスト OS での操作

vagrant@ubuntu:~\$

Docker で動いてるコンテナでの操作

\$bash-4.2#

### もちもちテクニック Vol.1 2014 SUMMER

2014 年 08 月 17 日 v1.0.0 版発行

著 者 あさくらひろし、danny

デザイン あさちゅん イラスト あさちゅん

発行所 もちもち堂

(C) 2014 Hiroshi Asakura